

労働学校

<テーマ>

戦争を阻止する力は何か - 切迫する朝鮮戦争と沖縄 -

◆講師 水樹 豊さん (前進 編集局)

※日米安保や改憲を研究。反戦反核、反原発運動の闘いも取り組んでいる。

『序局』第11号「戦争を阻む力は何か」の特集では「戦争と改憲の安倍に大反乱を」を執筆。

国際連帯の闘いで戦争を止めよう！

全世界で戦争に対する怒りと行動が巻き起こっています。今、朝鮮半島では史上最大と言われる規模で米韓合同軍事演習（韓国軍29万、米軍1万5千人）が3/7～実施され、北朝鮮に「圧力」をかけています。一方で、韓国ではパククネ政権の戦争政策に反対し、民主労総（労働組合ナショナルセンター）を先頭に連続的にゼネラルストライキに立ち上がっています。日本でも辺野古の新基地建設に対して不屈の闘いが継続されています。

戦争を阻止する力はどこにあるのか？ 朝鮮戦争と沖縄の関係とは？ ぜひ4/16の労働学校にお越し下さい。

4/16(土)

場所：福島市民会館 502

時間：13:00～

受講料：1000円

※終了後、交流会もやります♪

※写真：2/27「パククネ独裁政権を打倒しよう」ソウル市庁前広場2万人



1047名
解雇撤回 支援

① 物販



30年前、分割民営化時に解雇された国鉄労働者の支援が今も続いています。

30年間、断固闘いぬいている仲間のために
ご協力よろしくおねがいします！

-労働組合が今こそ時代の最先頭に-

◆国鉄分割民営化とは・・・

1987年、当時の中曽根首相が国有鉄道（現JR）の分割・民営化が強行し、20万人におよぶ労働者が首を切られました。その目的は、最大規模の組合員と闘いを有していた国鉄の労働組合を解体し、日本が戦争をできる国へと変えていくことでした。

◆30年間、闘いは継続中

しかし、「分割民営化反対 解雇撤回 原職復帰」の闘いは政治的解決着（2010年）を拒否した闘争団を軸に今なお28年間、闘いが継続され、国鉄分割民営化の狙いを打ち砕いています。

この闘いと運動をさらに、大きく広げていきましょう。

② 解雇撤回 JR採用を求める新署名が始まりました！

10万筆達成！！



署名数

101,076筆

写真：郡山総合車両センター前での署名集めの様子

署名の力で最高裁で不当労働行為を認めさせました。次は解雇を撤回させ、JRに採用を求める署名がスタートしました。



ふくしま労働学校

スケジュール

郡山

マルクス『賃金・価格・利潤』を
読んでみよう

とき：5/21（土）13時～

場所：橘公民館

講師：倉岡 雅美さん

（国鉄福島動力車労働組合 組合員）

福島

マルクス『資本論』入門講座

とき：6/18（土）13時～

場所：福島市民会館

講師：山本 進さん

受講料 1000円
学習後は、交流会もやります



お待ちしております♪

